

F U J I S A N N E T W O R K

# ふじさんネットワーク

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

情報誌 2000. MARCH

Vol.3



ふじさんネットワーク

# 美しい富士山を未来の子どもたちに

平成12年1月末、富士宮市で「第2回富士山学習発表会」が開催されました。富士宮市内の全小中学校の子どもたちによって行われている富士山に関する研究や活動の展示発表会です。子どもたちはいったいどんな思いを富士山に寄せているのか？そしてどんな活動をしているのか？今回の特集はそんな子どもたちの世界をのぞいてみましょう。

## レポート・富士山学習

### 「富士山を知りたい、学びたい、共に生きたい」

#### 富士山学習とは？

ある中学校の理科の時間。富士山の地質についての授業が続いていました。話は富士山の構造に止まらず、いつのまにか地震のこと、そしてどうしてできたのかなど多くの疑問、質問に広がり、授業後も子どもたちの「富士山を知りたい」という欲求は膨れあがるばかり。自ら調べ始める子どもも出るほどでした。そんな子どもたちの姿がきっかけで、富士山をテーマとした学習活動「富士山学習」は始まりました。そして今では富士宮市内の全小中学校に広がり、それぞれ独自の研究、活動を展開しています。

「富士山学習」の基本姿勢は子どもたちの「知りたい、学びたい、共に生きたい」。そして「ねらい」として次のことを掲げています。自分の生まれ育った富士宮の「文化遺産」富士山と触れ合い、親しみ、調べることにより、富士山の美しさや偉大さを知り、感動する心を養う。富士山と自分たちの生活(暮らし)とのかかわりを調べ、富士山の大切さに気づき、郷土富士宮に生まれ育つ喜びと誇りをもち、21世紀に生きる勇気と自信を育む。富士山に寄り添い、富士山に支えられて、心身の力を試し、やり遂げる心と体力を育てる。まさしく、富士山といっしょに暮らすまち、富士宮だから生まれた、「大きく」「やさしい」学習活動です。



学内に設けられ富士山学習室には、先輩たちの残したこれまでの富士山研究成果が保存されているほか、学習会なども開かれている。(富士宮第二中学校)

オオムラサキの舞う学校を目指し、生徒はもちろん、父兄や地域とも協力。オオムラサキを知る学習と飼育に取り組んでいる。(富士見小学校)



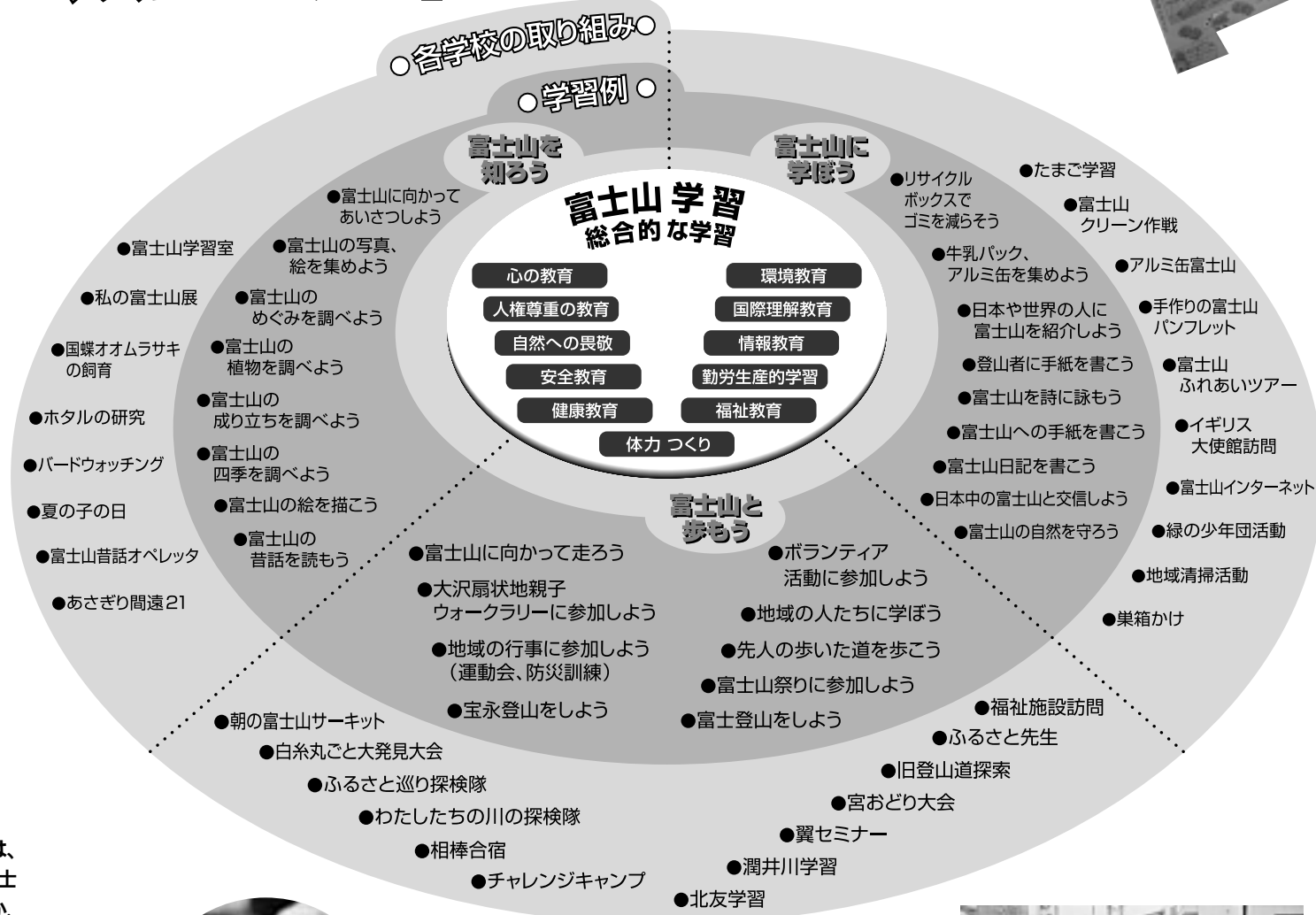
地元のおじいちゃんやおばあちゃんとのふれあいや花植えなど、地域とのさまざまな交流が子どもたちによって行われている。(大宮小学校)



資料提供/富士山学習研究会

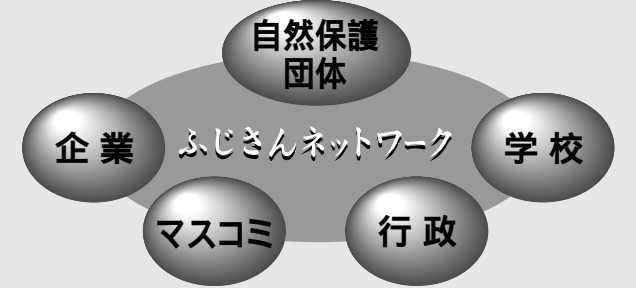


自分たちで調べた富士山の歴史や富士山に住む動植物のことを書いたパンフレットを作り、自ら登山客に手渡し。夏休みの終わりには全国からパンフレットの返事が届いた。(大富士小学校)



## バックアップ・シュミレーション

### 「富士山」の環境教育を応援しよう



#### ネットワークを活かしたバーチャルプラン

「ふじさんネットワーク」には自然保護団体や行政、学校、企業、マスコミと様々な分野の会員がいます。そしてそれぞれが専門の知識や技術を持っています。これを子どもたちの環境教育に活かすことができたら。たとえば.....。

#### 富士山ものしり講座

もしも、学校や自然保護団体の植物、昆虫、地質などの専門家に講師を務めてもらえたら「移動富士山ものしり講座」が開けます。さらに「インターネット講座」にひろげることができます。

#### 富士山を学ぶ体験植樹

幼樹や苗木を提供してくれる団体、企業や、植樹を指導してくれる専門家が集まれば、子どもたちに植樹を体験してもらうことができます。

#### 富士山子どもエコツアー

ツアーをプランしてくれる旅行会社や企業があれば、自然を肌で学ぶ子どもエコツアーの開催も可能です。

#### お泊まり体験自然教室

宿泊研修施設を開放してくれる行政機関や企業があって、カルチャー指導してくれる専門家が集まれば、1泊2日、夜の星空講座つき体験自然教室が開けるかもしれません。

#### 発信! 全国の子供たちへ

新聞社やテレビ、ラジオ局の協力があれば、もっともっと多くの子供たちに富士山の情報が発信できます。もちろん富士山体験を呼びかけることも。

## ネットワークで広がる富士山環境活動

「ふじさんネットワーク」も今や150以上の団体、企業、そして賛助会員が参加する、大きな輪に育っています。このネットワークが力を合わせれば、子どもたちの富士山環境教育だけでなく、大人や若者をも巻き込んだ環境活動も実現できるはず。ふじさんネットワークには富士山の環境保全活動をもっともっと大きく広げる可能性が潜んでいます。平成12年度、「ふじさんネットワーク」は、この可能性の実現を目指し活動していきます。多くの方の御協力をお願いいたします。

<h2 style="margin: 0;">富士山の自然林再生活動</h2>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士山自然の森づくり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348</td> </tr> </table>	富士山自然の森づくり	富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348
富士山自然の森づくり			
富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348			



私たちは平成8年9月の台風による風倒木跡へ広葉樹植栽による再生活動に毎月取り組んでいます。平成11年度の活動は次の通りです。(2月まで)

1.定例活動(毎月1回実施)


- 4月・5月 広葉樹の植栽と食害調査
- 6月 伐採・地揃え植栽
- 7月・9月 植栽後の下刈りと苗場草取
- 8月 大沢・時塚の自然林観察会
- 10月・11月 種子稚樹採取と苗場植え付けと竹採り
- 12月・1月・2月 森づくり教室(一般公開講座)

2.関連活動

富士山の森再生活動推進協議会出席 森林管理局主催) 県主催富士山3776大作戦 森づくり行事への指導参加 市主催広葉樹植栽地地拵 植栽行事への指導参加 第50回全国植樹祭の県表彰、森づくり宣言 国土緑化推進機構「緑の募金の森」造成事業に参画 ふじさんネットワークへの参加 日米草の根交流サミット企画と講話と植栽指導 富士宮市、焼津市小学校生徒への講話現地指導 富士宮市家庭学級、富士市公民館事業への指導 富士山動物動向調査、自生稚樹の生残率調査の実施 シカ動向調査 センサーカメラ、足跡、糞、食痕など) 粟倉苗場への整備管理(種子稚樹の採取と育苗) 小規模倒木跡への伐採と植栽 森づくり共同活動や自然関連団体への講話派遣

私たちが森を造るのではなく、自然に再生する森に学びながら安定した森が早く再生できるよう少しお手伝いをするという気持ちで取り組んでいます。富士山の森再生のため自生種を扱い、富士山の好きな仲間の善意により楽しい汗を流しながら長く続けていきたいと願っています。誰でもいつでも自由に参加できます。時間があきましたらぜひ富士山西白塚に来てください。

<h2 style="margin: 0;">復活した須山口登山歩道を守るために</h2>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士山須山口登山歩道保存会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138</td> </tr> </table>	富士山須山口登山歩道保存会	裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138
富士山須山口登山歩道保存会			
裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138			



平成9年、待望の「須山口登山歩道」が復活しました。この登山道が開かれた年代は定かではありませんが、大宮(富士宮)、吉田登山道と共に鎌倉時代からあったと言われていま。その後は宝永の噴火により一時途絶え、70余年後に復活。明治前半までは登山者も多かった。明治末、大野原が旧陸軍の演習場となったため有名無実という歴史を経、ようやく85年ぶりに、渡邊徳逸氏の指導によって復活させることができました。車社会の現代ですが、昔のように各登

山道の下宮である浅間神社から歩いていこう。歩いていけるという意を込めて、登山「歩道」としました。

会員は60～70歳前後の人たちが中心で、この復活した「富士山須山口登山歩道」が多くの人に愛され、生き続けることを願い活動を続けています。

活動内容  
須山口登山歩道、下山歩道の整備(草刈りや倒木の片付)  
5月～10月  
道標の作成と設置  
行事  
開山式記念登山(7月1日)  
本年のコースは、須山浅間神社から水ヶ塚(バス) 水ヶ塚-須山御胎内-幕岩-御殿場口太郎坊(徒歩) 太郎坊-須山浅間神社(バス)  
裾野市を中心に約60名が参加の予定  
秋の紅葉散策と登山歩道の清掃  
日時、参加人員等未定

<h2 style="margin: 0;">富士山の自然を守り育てる</h2>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士急行株式会社</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><a href="http://www.fujikyuu.co.jp/">http://www.fujikyuu.co.jp/</a></td> </tr> </table>	富士急行株式会社	山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113	<a href="http://www.fujikyuu.co.jp/">http://www.fujikyuu.co.jp/</a>
富士急行株式会社				
山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113				
<a href="http://www.fujikyuu.co.jp/">http://www.fujikyuu.co.jp/</a>				

当社は創業以来「富士山の自然を守り育てる」を経営理念の一つにかかげ、様々な環境保全活動に力を入れて取り組んできましたが、そのいくつかの事例をご紹介します。CNGバス、アイドリングストップバスの導入

平成7年、当社は国立公園地域では全国で初めてCNGバス「エバーグリーンシャトル」を導入しました。窒素酸化物や黒煙のまったく出ないクリーンなこのバスは富士登山バスを中心に運行しており、現在富士急グループで15両保有しています。

一方、従来のバス車両の運行においても信号待ちや停車時にはアイドリングストップを励行、車両の更新にあたってはアイドリングストップ装置の付いた車両を順次導入しています。

「富士急記念の森林(もり)」の造成

平成3年、会社創立65周年事業の一環として、富士宮市の富士山国有林に「富士急記念の森林(もり)」を造成しました。これは富士山の自然を守り育ててきた当社が、林野庁の推進している「国民参加の森づくり」に参加したもので、富士山の自然植生に適した樹木を植栽し、60年にわたって育て上げていくものです。毎年、新入社員の手で下草刈りや植え付け整備が行われています。

有料道路での低公害車両通行料割引制度の実施  
当社は裾野市で総延長8.5kmの有料道路「南富士エバー



昨年4月より導入したアイドリングストップバス「エバーグリーンライン」を運営していますが、昨年4月から全国の有料道路で初めて、低公害車両を対象にした通行料の割引を開始しました。電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、メタノール自動車を対象に通行料を4割引にしています。

鉄道・バス業界初、ISO14001認証取得  
昨年1月、本社(山梨県富士吉田市)及び東京本社(東京都渋谷区)で環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の認証を全国の鉄道・バス業界で初めて取得しました。今後とも、永遠のテーマである環境保全について全社をあげて取り組んでまいります。

<h2 style="margin: 0;">富士自然観察の会のいま</h2>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士自然観察の会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441</td> </tr> </table>	富士自然観察の会	富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441
富士自然観察の会			
富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441			

富士山の南麓、愛鷹山塊以西、富士川以東富士市とその隣接地域をフィールドにしております。会の発足当初から会員を対象にした自然観察会が活動の中心です。身のまわりの自然に関心をもってもらいたい。そして、愛着をもってもらいたい。自分にとってかけがえのないものであることに気付いてもらいたい。素朴な願いから会を立ち上げました。

現在、130名の会員を数えますが、積極的に参加する方は時間にゆとりのあるメンバーで、未来を託す若者の姿がないことが長い間の課題でした。経験からヒトの自然への興味、係わり方は9才頃までに土台が固まってしまうようです。「親子の観察会」を計画する所以です。しかし、バブル期までの経済、開発中心の時代からゆとり中心のソフト重視の世の中に傾きかけていること。小中学校の週休2日制への動きも追い風になりました。今、会の活動の場も会員対象を柱にしつつ「こどもエコクラブ交流会」「ふじのくにゆうゆうクラブ」市内各公民館行事など、それぞれの地域に密着した場へ輪を広げています。会員対象12回など月2回の年間計画をこなしますが、各方面の要請を受け自然との対話の手助けをしております。この合間にフィールド調査で腕に磨きをかけます。



親子観察会では「遊びながら自然に親しむ」方法を取っております。これまでに蓄積した「あそび」を整理して冊子にまとめる作業が進行中です。埋もれたあそびの発掘ばかりではなく、会員が工夫したユニークな自然に親しむ方法を絵入りで紹介します。

我が町は、富士山麓開発に網をかけ乱開発に歯止めをかけているにもかかわらず、裾野に人工物が緑を蝕んでいることも事実です。私たちの活動の成果が試されています。

「ふじさんネットワーク」ホームページに掲載されている(3月10日現在)情報をピックアップしました。

http://www.fujisan-net.gr.jp/

## 会議室

### 今日の富士山

投稿者:nonさん 女性  
今日の朝、安倍川から見た富士山はとてもきれいでした。

### Re今日の富士山

投稿者:村上 次郎さん 50才 男性  
NHKで富士山の見える最北限の村を見ました。雲海の彼方に見える富士山を感激する村の人。見ている私も感動しました。富士山は人々の心を揺るがす存在である事を改めて痛感しました。子供の頃の印象は東京タワーの隣に富士山が見えていた事です。今、静岡に在住し、東名高速を走りトンネルを抜け由比に出た時、富士山が目一杯入った時の感動は筆舌に尽くし難いものがありました。因みに最北限は福島県、南限は和歌山県だそうです。

### 植林

日 時:4月16日(日)時間未定  
場 所:富士山西白塚周辺  
問い合わせ:富士山クラブ静岡事務所  
TEL/0559-83-4133

### じゃおの森整備

日 時:4月22日(土)9:30~15:00  
場 所:富士山御胎内清宏園内  
「土に還る木工房」  
問い合わせ:じゃおクラブ 郡司  
TEL・FAX/045-812-2907

## イベント情報

### 緑の募金の森・ 広葉樹の植栽-1

日 時:4月23日(日)9:00~15:00  
場 所:富士山国有林 210林班  
問い合わせ:富士山自然の森づくり 仁藤  
TEL・FAX/0544-24-9348

### 第9回富士山「まなびの森」 植林ボランティア活動

日 時:4月23日(日)10:30~15:00  
場 所:富士山「まなびの森」  
(表富士2合目国有林内)  
団体名:富士山「まなびの森」実行委員会  
問い合わせ:住友林業株式会社 総務部内  
TEL/03-3349-7521

### 第10回富士山「まなびの森」 植林ボランティア活動

日 時:4月25日(火)10:30~15:00  
場 所:富士山「まなびの森」  
(表富士2合目国有林内)  
団体名:富士山「まなびの森」実行委員会  
問い合わせ:住友林業株式会社 総務部内  
TEL/03-3349-7521

### 春の植樹活動 御殿場口鈴丸尾植樹活動

日 時:4月28日(金)・29日(土)  
4/28 10:00~  
4/29 15:00まで  
場 所:富士社会教育センター集合  
団体名:富士山ナショナル・トラスト  
問い合わせ:富士社会教育センター  
TEL/0550-89-2530

### 第4回富士山3776 自然林復元大作戦

日 時:4月30日(日)10:00~15:00  
場 所:富士宮市栗倉  
問い合わせ:静岡県 富士山保全室  
TEL/054-221-3618

### 第1回春の自然観察と 幼苗特集

日 時:5月3日(祝)8:30~15:00  
場 所:富士社会教育センター集合  
団体名:富士山ナショナル・トラスト  
問い合わせ:富士社会教育センター  
TEL/0550-89-2530

### 浅間大社やぶさめ祭

日 時:5月4日(木)~6日(土)  
場 所:浅間大社  
団体名:富士宮市観光協会  
問い合わせ:浅間大社  
TEL/0544-27-2002

### 第2回春の自然観察と 幼苗特集

日 時:5月5日(祝)8:30~15:00  
場 所:富士社会教育センター集合  
団体名:富士山ナショナル・トラスト  
問い合わせ:富士社会教育センター  
TEL/0550-89-2530

### 第1回春の挿し木 (苗木づくり)活動

日 時:5月7日(日)8:30~15:00  
場 所:富士社会教育センター集合  
団体名:富士山ナショナル・トラスト  
問い合わせ:富士社会教育センター  
TEL/0550-89-2530

### 勢子辻の野草

日 時:5月7日(日)9:00~12:00頃  
場 所:勢子辻(富士山こどもの森南1キロ)  
問い合わせ:富士自然観察の会 中村  
TEL/0545-52-4441  
(夜間のみ)

### 第2回春の挿し木 (苗木づくり)活動

日 時:5月14日(日)8:30~15:00  
場 所:富士社会教育センター集合  
団体名:富士山ナショナル・トラスト  
問い合わせ:富士社会教育センター  
TEL/0550-89-2530

### 緑の募金の森・ 広葉樹の植栽-2

日 時:5月21日(日)10:00~14:00  
場 所:富士山国有林 210林班  
問い合わせ:富士山自然の森づくり 仁藤  
TEL・FAX/0544-24-9348

「富士山」に関する、ここ数ヶ月間の新聞記事の中からピックアップしました。



富士宮市のホームページ「富士山写真」が人気  
1.11 静岡新聞朝刊

富士の山肌に「かぐや姫」?!  
1.25 静岡新聞朝刊

観光と環境どう調和?富士で懇話会  
1.26 静岡新聞朝刊

富士山をゴミから守れ「不法投棄一掃クリーン作戦」  
1.29 静岡新聞朝刊

環境保全活動に助成・1件20万円限度に新年度スタート  
2.6 静岡新聞朝刊

富士山のすそ野で300人が雪合戦  
2.12 毎日新聞朝刊

富士山ろく200キロ・10月に1周ウォーク開催  
2.25 中日新聞朝刊

富士山を生かした観光振興で山梨県と合同組織設立  
3.1 静岡新聞夕刊

2.15 静岡新聞 朝刊

### 富士山トイレ改善へ当面对策

## 「スギチップ式」とし尿運び出し併用

富士山の環境保全対策の一環としてトイレの改善費を検討している富士山トイレ研究会(委員長・岩堀恵祐氏)は十四日、今後のトイレ改善の方向性を盛り込んだ中間報告をまとめた。

研究会は十、十一の両年、し尿の運び出しの実証実験で、微生物の分解作用を利用したスギチップ式トイレや、ブルドーザーによるし尿処理施設への搬入・処理を中心とした処理システムを確立し、山頂への流出を抑制することを目標に掲げ、当面の対策として運び出しと、スギチップ式トイレの併用を打ち出した。

また、し尿の運び出しでは輸送の効率化、便槽の浸透防止対策とともに、地元自治体のし尿処理施設の確保や費用面の検討が必要とされている。

将来的には公衆トイレ、山頂トイレともに浄化設備を設けるなど処理の高度化を図っていく必要があるとして、固液分離処理、脱窒化、水洗化の開発やソーラー発電など環境に優しいエネルギーの導入などを挙げている。

ハート面の取り組みと併せて、利用者のマナーや管理

体制の向上とともに、トイレの維持管理にかかると経費削減の仕組みの検討、改善計画を推進していく行政、地元、山頂業者、利用者による組織づくりなどが欠かせないとしている。

研究会は十一年度以降、さらに二年間かけ、新たなし尿処理システムなどの検討を進めていく。

研究会が中間報告

3.1 静岡新聞 夕刊

## 富士山との共通点探る

# 南極でコケ・藻類調査

静大理学部 増沢武弘教授

多くデータ収集の構造や機能解明へ

増沢教授は「南極の氷山や氷山崩壊による氷山片の漂流は、富士山の氷山崩壊と類似している」と指摘し、南極の氷山崩壊による氷山片の漂流は、富士山の氷山崩壊と類似しているとしている。

増沢教授は「南極の氷山や氷山崩壊による氷山片の漂流は、富士山の氷山崩壊と類似している」と指摘し、南極の氷山崩壊による氷山片の漂流は、富士山の氷山崩壊と類似しているとしている。

富士山にちなんだ「富士百人一首」出版  
3.3 静岡新聞朝刊

富士山トイレ研究会委員長・岩堀恵祐氏  
3.4 静岡新聞朝刊

富士宮西高ワングル部・富士山の体験一冊に  
3.5 朝日新聞朝刊

富士山レーダーの功績認定・米学会が記念プレート  
3.7 静岡新聞朝刊

狩野探幽の連作「富士十二景図」見つかる  
3.14 産経新聞朝刊

## 事務局通信

### Eメールアドレスを教えてください

多くの会員の方々からご意見をいただくために、またそのご意見を活動に反映させていくために、この度「メーリングリスト」を作製することにいたしました。会員団体の代表の方だけでなくそれぞれの会のメンバーの方々にも参加していただきたいと思っております。Eメールアドレスを事務局(3776@fujisan-net.gr.jp)までお知らせください。

### ホームページをリニューアルします

ふじさんネットワークのホームページがこの春、生まれ変わります。トップページのデザインも一新し、内容もリニューアル。富士山に関する新聞記事を集めた「ニュースクリップ」や「富士山ギャラリー」なども新設予定。この情報誌もホームページ上で見るができるようになります。ご期待ください。

### 「MEMBERS」原稿のお願い

会員のみなさんの自己紹介ページ「MEMBERS」の原稿をお送りいただけない会員のみなさん、お送りいただけますようお願いいたします。

### 富士山の写真募集中!

インターネットホームページに「富士山ギャラリー」の開設を予定しています。みなさんのお持ちのとおき「富士山写真」をお貸しください。



### 会員募集

「ふじさんネットワーク」は随時会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

### 「ふじさんネットワーク」事務局

〒420-8601  
静岡県追手町9番6号  
静岡県環境部富士山保全室内  
TEL/054-221-3618  
FAX/054-255-6495  
URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/  
E-mail/3776@fujisan-net.gr.jp

## 富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡県  
山梨県

## 『富士山カントリーコード』

10の約束、美しい富士山をあなたと共にいつまでも  
策定:富士山地域環境保全対策協議会

- 1 「美しい富士山を後世に引き継ぐ」
- 2 「ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る」
- 3 「ゴミになるようなものを最初から持っていかない」
- 4 「登山道はずれて歩かない」
- 5 「登頂記念の落書きをしない」
- 6 「車道外へ車両等を乗り入れない」
- 7 「溶岩樹型等の特殊地形を壊さない」
- 8 「駐車場ではアイドリングをしない」
- 9 「動植物を採らない」
- 10 「トイレなど公共施設をきれいに使う」